

第637回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

「わが町バンザイ（奥州市胆沢編）」

平成31年2月21日（木）

（株）I B C 岩手放送

第637回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成31年2月21日(木) 午前11時

2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 8名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

副委員長 熊谷 志衣子

委員 栗田 均 菅原 和彦

龍澤 尚孝 宮 順子

佐藤 求 畠山 俊彰

欠席委員の氏名 小松 務 澤口 たまみ

会社側の出席

鎌田 英樹 代表取締役社長

黒澤 秀之 取締役営業本部長

眞下 卓也 取締役放送本部長

中島 勝志 報道局長

堀米 道太郎 テレビ制作部長

佐々木 卓也 ディレクター

事務局 若槻 修 番組審議会事務局長

平澤 泰志 番組審議会事務局員

4. 議題 「わが町バンザイ／奥州市胆沢編」
(1月23日(水) 午後7時放送)

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- まったり感が何とも言えず、ほかの番組にはない魅力がある。番組に出てくる方々が全然カメラを意識せず、すごく自然体で、言わされている感がない。「そうだよね」と共感度を引き出すような所が番組の魅力だと思った。見ていてほっこりするような場面がいろいろあった。
- 円筒分水工の水の出方や勢い、農はだての行事での大臼や大俵など、ナレーションでは伝えにくい部分を資料映像で補っていたため、よく理解できたし、番組を引き立てたと思う。旧胆沢町の良さが十分に伝わってきた。エンディングのコメントにあったように、岩手、日本を代表するような歴史文化が数多くあるということには驚かされた。町の人たちとのコミュニケーションを通じて、胆沢人の伝統を大切にす文化、自分の町に対するプライドがしっかり伝わってきた。
- 小野寺さんのワラ文化伝承への想いとか、まるかん菓子店のピーマン饅頭やふわふわいちごの開発秘話を引き出したのは素晴らしいと思った。インタビューを受けた人が飾らずに素直な気持ちを出していた。家族で見ながら楽しめる番組だった。
- 菊池幸見アナの懐に入る人間力に感心した。川島アナも表情豊かに感じたことを一生懸命表現して好感が持てた。一番楽しかった部分はまるかん菓子店で、お菓子の開発秘話とか胆沢町民劇場で出会ったお二人の関係とか、その辺りが人間の温かみがあって良かった。旧胆沢町が日本一にこだわっているところを番組の中でいろいろ紹介したことは、胆沢地区にとって非常に嬉しいことだったと思う。
- 胆沢という町の岩手県の中の位置関係が、番組開始から15分か20分経ったところで左に小さく地図が出てきた。番組冒頭で示したほうが理解しやすい。
- 町内の訪れた場所は、町を知らない人にとってはわからない。個人情報への配慮は当然だが、大体のロケーションがわかる程度でも位置関係を示してもらえると親しみがわくのではないか。